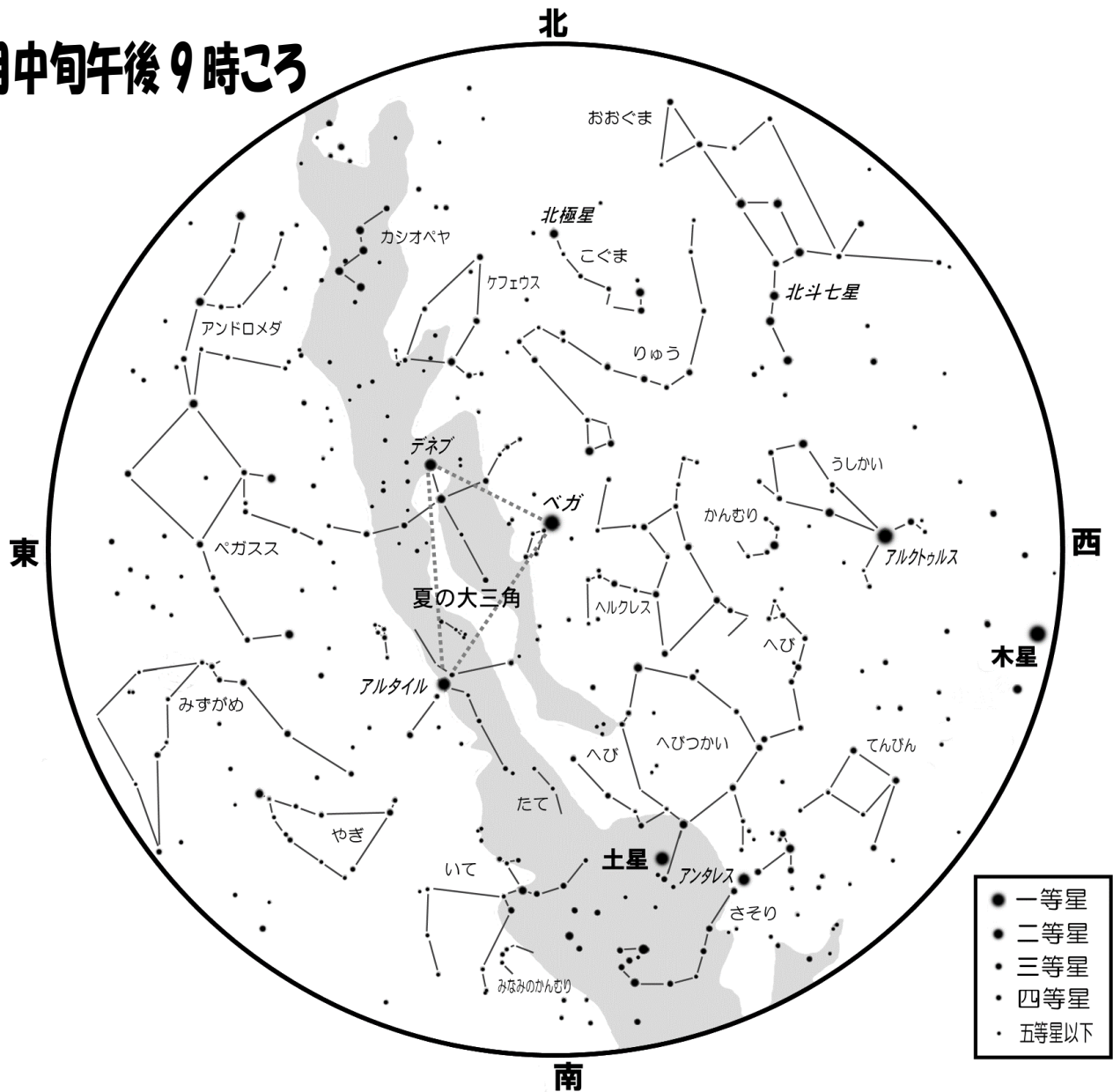


# 阿南市科学センター 8月の星空案内

8月中旬午後9時ごろ



8月は太平洋高気圧の勢力が強く、天気の良い日が続くことから、星座を観察するには1年で最も適している時期と言えます。中でも、**夏の大三角**や、**さそり座**などは、明るい星ばかりですので、もっとも見つけやすい星の並びや星座と言えるでしょう。

さて、夏の見所と言えば、なんとと言っても**天の川**です。徳島県では阿南市より南に行くと、人工の光が極端に少なくなりますので、その分、どこでも天の川が簡単に見ることができます。もし、この夏休み期間中、山や海など、夜空の暗いところにキャンプに出かけたときには、ぜひ星空を見上げてみましょう。きっと街中では見ることができない素晴らしい星空を見ることができるでしょう。

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600

# 8月の月と惑星

月の満ち欠け

月の形	○満月	●下弦の月	●新月	●上弦の月
見える日	8日	15日	22日	29日

惑星

水星 ●	金星 ●	火星 ●	木星 ●	土星 ●
太陽に近く観察は難しい	明け方の東の空に見える (明るさ -4.0等級)	太陽に近く観察は難しい	日没後、 西の低空に見える (明るさ-1.8等級)	夜9時ころ、 南の空に見える (明るさ0.1→0.2等級)

## 天文館夜間天体観望会 8月の見もの天体

### ○ たて座の散開星団「M11」

この時期、空の暗いところで星空を眺めてみると、頭の真上にある夏の大きな三角形からさそり座のしっぽのあたりにかけて、白くぼんやりと天の川を見ることができます。

そんな天の川の濃くなっている「たて座」という星座の中にあるのが、散開星団 M11 です。この星団は比較的小さな散開星団ですが、星の密集度が高いため、望遠鏡で観察した場合、低倍率ではどちらかと言うと球状星団のように見えるかもしれません。そのため、散開星団の観測のセオリーから外れるかもしれませんが、この星団に限っては思い切って100倍以上の倍率で観察してみましょう。すると、無数の小さな星たちの姿がよくわかり、砂粒を散りばめたような見事な姿を見ることができます。

8月に行われる天体観望会では、散開星団の代表としてこの天体も大型望遠鏡で見えますので、定期観望会に参加して、ご自分の目でその見事な姿を確かめてみてください。



## 今月の天文現象

### 8月12日(土)～13日(日) ペルセウス座流星群がピーク

8月12日の夜から13日に明け方にかけて、ペルセウス座流星群がピークを迎えます。この流星群は、毎年安定して見られる流星群で、夜空の暗いところでは1時間あたり50個程度の流れ星が見られます。ただ、今年は残念ながら午後9時すぎには月齢20の

月が東の空から昇ってくるために、観察の条件としては最悪で、月明かりの影響もあって、実際に見られる流れ星の数は、夜空の暗い場所でもせいぜい、1時間あたり数個程度とあまり期待できません。

それでも、この流星群は時にびっくりするくらい明るい流れ星を流すこともありますので、月明かりがあると言ってもあきらめてはいけません。できるだけ、月明かりが直接目に入らないように、宵の口から深夜までは西の方角、また明け方には、東の空を注目して下さい。

また、流星は左の図のようにペルセウス座近くにある「放射点」と呼ばれるところから流星が四方八方に飛び出すように見えます。さらに、流れ星はいつ、どちらの方向に飛ぶかわかりません。そのため、観察する場合は、できるだけ広い範囲を眺めるようにして下さい。

ちなみに、今年のピークは8月13日の午前4時ころと予想されています。そのため、観測をする場合は13日の明け方にご覧になるのが良いでしょう。



8月12日午後11時頃北東の空

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600